

シリーズ



## 現場最前線からの便り

国有林の現場の最前線となる森林事務所・治山事業所等の仕事や、管轄する地域の特徴などを紹介します。

【東濃森林管理署

中津川治山事業所】

治山技術官 前田 達樹

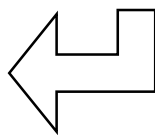
中津川治山事業所は岐阜県南東部（中津川市南部）の七、四四七ヘクタに及ぶ流域の治山事業を主に担当しています。当該地域には木曽山脈の最南部に位置する恵那山（標高二、一九一m）を最高峰として焼山や鯉子山などの標高一、五〇〇m級の山が連なっており、中津川市街の重要な水源地帯となっています。

木曽山脈は主に花崗岩や花崗閃緑岩により構成されます。当地域内には恵那山断層等の多くの活断層が存在し、破砕作用の影響を受けて深層風化が著しいため、付近一帯は砂状風化「マサ化」により表層崩壊が発生しやすい状況にあります。湯舟沢国有林の温川流域最上部にあたる姥ナギ沢では大規模崩壊が確認され、平

成七年より復旧工事を行ってきました。これまでの工事で斜面の安定化や緑化が図られてきましたが、引き続き施工データの蓄積を生かしたり、林地化の経過観察をしたりしながら復旧工事を行う必要があります。



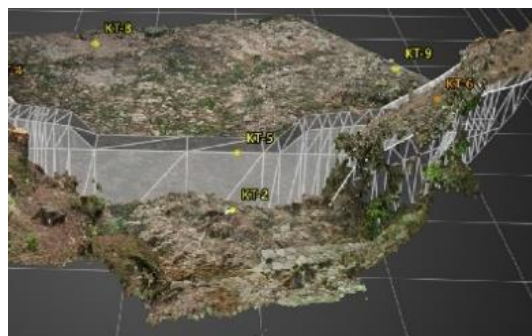
復旧工事着手前



近年の姥ナギ沢の状況

また、治山ダム施工地では、ICT建設機械による掘削施工や無人航空機によるレーザースキャナを用いた

出来形計測の実施等の取組みを行っている箇所もあります。これら取組みで、作業の省力化や品質確保の向上が期待されます。



無人航空機搭載レーザースキャナによる3次元計測データ

治山工事の実施にあたっては図面数量作成や工事費積算等の事務、工事受注者との調整や立会等の監督業務がありますが、施工地の状況に依りて刻々の進捗ごとに適切な検討対応が求められます。

仕事からは少々離れますが、異動先々のイベント参加も面白味のあるものだと思えます。五月にあった市内での中津川リレーマラソン、職場

の若手四人一チームで参加してきました。順位は後ろから数えた方が早いですが、無事完走できたので万々歳です！！



現地確認の様子（写真中央筆者）

## ■未来の担い手へのメッセージ

治山事業は、山地災害から国民の生命・財産を守る重要な役割を担っています。近年は豪雨災害の激甚化等により、各地の対策がより求められます。新しい技術や工法も導入されつつあり学ぶことも多々ありますが、新たな知見を得て成長の実感にも繋がると思えます。私たちと一緒に、治山事業を担って働いてみませんか！